

番町小学校

創立145周年記念号



初代校長 八木 弘
(1871年~76年)



第2代校長 河野 通
(1876年~78年)



第3代・第6代校長 丹所啓行
(1878年~99年) (1903年)



第4代校長 田村森太郎
(1899年)



第5代校長 高橋鉄蔵
(1899年~1903年)



第7代校長 小野義倫
(1903年~08年)



第8代校長 高野筆次郎
(1908年~23年)



第9代校長 服部 蓼
(1923年~28年)



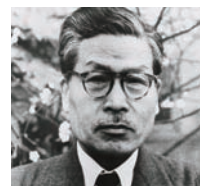
第10代校長 岡井二良
(1928年~41年)



第11代校長 宮内與三郎
(1941年~46年)



第12代校長 笠倉賢助
(1946年~52年)



第13代校長 山口友吉
(1952年~57年)



第14代校長 高杉新作
(1957年~64年)

145



第15代校長 遠藤五郎
(1964年~70年)



第16代校長 小山昌一
(1970年~76年)



第17代校長 小塚芳夫
(1976年~82年)



第18代校長 中田英義
(1982年~86年)



第19代校長 草野保治
(1986年~90年)



第20代校長 新見謙太
(1990年~94年)



第21代校長 河西泰道
(1994年~98年)



第22代校長 青木 靖
(1998年~2002年)



第23代校長 越村清治
(2002年~05年)



第24代校長 星野昌治
(2005年~08年)



第25代校長 有馬守一
(2008年~12年)



Anniversary

～進化する番町小学校～



竹川 勝治

S 4 9 年度卒業

番町小学校創立 1 4 5 周年記念事業

実行委員長

創立 1 4 5 周年、おめでとうございます。私が在籍していたのは昭和 4 3 年から 4 9 年までの間ですが、今でもその頃のことははっきりと覚えています。最大の出来事は昭和 4 7 年、私が 4 年生の時に昭和天皇をお迎えして行われた 1 0 0 周年の記念式典です。時をあわせて現在の校舎が新築され、とても綺麗であったのを憶えております。当時、生徒はクラス約 4 0 名で 4 クラスありまして 1 学年で 1 6 0 名が在籍し、先生方を入れると 1 0 0 0 人近くの人が番町小学校にいたことになります。また、動物も日本猿の「ペー子」をはじめ、七面鳥、ニワトリ、ウサギ、オウムなどたくさん飼育しておりました。今は生徒の数が減り、飼育している動物も少なくなっているようです。あのときはできたでピカピカだった建物も老朽化しています。しかし、変わらないものもあります。校舎の存在感はあの時のまま変わりませんし、周りの自然もほとんど同じです。

そして何より、番町小学校の精神「番町スピリッツ」は 4 5 年たった今でもみなさんに引き継がれていると思います。「番町スピリッツ」をともに経験した小学校時代の友人は本当にかけがえのないものです。大人になっても、長年会っていないくても、すぐに小学校時代の友だち同士の関係に戻ることができます。それだけではありません。何年も何十年も先輩の方とも「番町スピリッツ」のつながりで打ち解けあうことが出来ます。私たち番町小学校の人間は横にも縦にもつながっているのです。ラテン語で「Festina Lente」という古い言葉があります。日本語にすると「悠々と急げ」といった意味になりますが、「番町スピリッツ」を胸に秘めたみなさんに、この言葉を贈ります。最近の社会の進展は目覚ましいものがありますが、それに振り回されるだけでなく、同じ時をともに番町小学校で過ごした友人・先輩・後輩を大切に、記憶にしっかりととどめ、忙しい社会の中でも悠々とその絆をつなげていただきたいと思います。



額賀 聡

第 2 6 代校長

2 0 1 2 年～

番町小学校が産声を上げ、爾来、幾星霜、本校は時として生じた苦い出来事や悲しい記憶をも超克、昇華して伝統を刻んできました。だからこそ、これまで本校は鮮麗なまでの功績も積み上げてきたのだと、145 周年を迎えた今、改めて深い尊敬の念に包まれます。それは、全力で学校を支えてくださっている地域・家庭、そして同窓会の皆様のお力添えの賜であると確信しています。その 145 年にわたり脈々と息づく番町小学校の魂を、私ども学校職員は教育実践の中で、祈りとともにつないでいく使命をもっています。それは取りも直さず、明日へ伸びようという気振らいを見せ勤学している現在の子どもたちに、本校を巣立って行った博覧強記の諸先輩の志を、確かに引き継ぐことができるよう指導することです。そして、広く社会・地域に裨益する、「人のために全力を尽くす」番町小学校の子どもたちを育て続けてまいります。子どもたちの養育に携わる全ての方々に謹んで御礼を申し上げ、創立 145 年の気風を込めて、文運隆盛の番町小学校を継承していくことを誓い、擲筆いたします。

e v o l u t i o n

2016年、番町小学校は創立145周年を迎えました。

古き番町小学校の教育が今でも脈々と受け継がれており、さらに新しい教育も加えられ変化しております。これからも番町スピリッツが消えることなく、ますます発展することを期待します。



岩瀬 裕全

S36年度卒業

同窓会長

久しぶりに母校の校舎をご覧になれば、変わらない教室や講堂の様子に懐かしさを感じる方が多いと思います。本年12月3日（土）午後12時30分より、母校番町小学校の講堂で、創立145周年の同窓会総会を開催します。当日は、学校主催の創立記念日を祝う式典が、午前中に実施されることも正式に決まりました。午前の式典に参加される番町会の現職・元職の先生方の中にも、午後の同窓会にご臨席頂ける方が多数いらっしゃるのではないかと期待しています。同窓生の皆様方におかれては、是非、前広にお声がけの上、少しでも多くの方々がご参加下さるようお願いします。

一方、学校を取り囲む街のたたずまいは、ビックリするほど大きく変わっています。そして、そのような目に見える事柄だけでなく、目に見えない事情にまで目を転じると、昨今の番町小学校を巡る環境は街の様子以上に変わっていることに驚かれるものと思います。教室の物理的の大きさは昔と同じですが、1クラスの人数は40人以下と、ずいぶん小人数になっているのみならず、最近まで、辛うじて1学年3クラスが大勢だったものが、徐々に1学年2クラスに絞られつつあるように見受けられ、結果として児童数がじわじわと減り続けています。「人口が減るのに伴って、児童数が減るのは当たり前だよ」とお考えになる方が多いかもしれませんが、実は、番町の周辺はマンションが大幅に増えて、住民数はもう何年も前から増加に転じているのです。皆様、是非久しぶりに母校を訪れ、今、番町に何が起きているのか、疑問の究明に力を貸してください。

最後に、もう一つお願いがあります。総会が終わって年が明けると、現在の同窓会役員の5年の任期が終了します。これまでの役員は、平成5年、番町小学校を廃校にする動きがあった時、危機感を持って集まってきた現在アラカン（アラウンド還暦）以上のメンバーがかなりの部分を占めていますが、スムーズな代替わりを進めて行くうえでも、若手の参加が大いに期待されることです。一人でも多くの卒業生に手を上げて頂けると大変有り難く、是非ともよろしくお願い致します。

千代田区立小学校学年別児童数(平成28年5月1日現在)

単式学級	麹町小学校	九段小学校	番町小学校	富士見小学校	お茶の水小学校	千代田小学校	昌平小学校	和泉小学校
1 学 年	85	68	69	75	40	47	49	52
2 学 年	84	59	63	65	36	39	42	62
3 学 年	90	50	61	80	47	30	44	46
4 学 年	82	68	65	52	45	29	42	45
5 学 年	51	51	53	67	28	37	36	37
6 学 年	61	51	49	62	50	32	41	44
合計人数	453	347	360	401	246	214	254	286

年度	創立50周年	創立65周年	創立90周年	創立100周年	創立110周年	創立120周年	創立124周年	創立130周年	創立135周年	創立140周年	創立145周年
番町小学校 児童数の推移	1141	1532	1587	1049	869	675	644	543	608	423	360
学級数	18	25	30	25	23	20	20	17	18	13	12

～過去から未来へ～

過去の番町にあって 今の番町にない(減ってきた)もの

- 5月の小運動会 ● 6年生によるプール清掃 ● 区所有のスクールバスによる遠足（5年＝高尾山、6年＝鎌倉 等）
- 教室内の流し場（水道設備）、職員室の二人掛けデスク ● 動物（過去には、お猿のペー子、サンショウウオ、ニワトリ、オウムなどがいた） ● 創立120周年を記念してつくられた昆虫園、国際理解ルーム ● ニューヨークのクイーンズ24小学校との姉妹校交流 ● 大正、昭和の頃にあった3年生以上の「男子組」「女子組」クラス。その頃の教科は「修身」「国語」「算術」「国史」「地理」「理科」「図画」「唱歌」「体操」「裁縫」「手工」「操行」



過去の番町になくて 今の番町にあるもの

- 教師以外の様々な立場からの子ども達への指導・支援・・・スクールライフサポーター、スクールカウンセラー、アシスタントイングリッシュティーチャー、発達支援アドバイザー、学習生活支援員、パソコン支援員、教科講師 など
- ICT教育の充実・・・学習指導や通知表などのIT化、パソコンルーム、タブレットパソコンの活用 ● 屋上緑化
- 番町教室（特別支援教育拠点校） ● 上智大との交流 ● 番町小学校グッズ・・・児童・職員用の番町Tシャツ・トレーナー、職員用の番町ポロシャツ 等 ● 山王祭への参加 ● 地域行事への参加 ● 給食調理の民営委託

形を変えながら つないで きているもの

●ラジオ体操会 ●行事・・・全校遠足、各種集会、持久走大会、宿泊行事（４・５・６年）、避難訓練、ふれあい給食
集会活動はたくさん子どもたちの自主性をのばし、まとまりをよくするために力を入れるようになった。番町小学校の
集会活動は全国の学校にも手本となる。昭和４４年に番町の歴史を表した「希望の町」、平成３年創立１２０周年を祝って
つくられた「世界にはばたけ番町の子」などの全校ページェントは、全校生徒でテーマを表現した。多くの集会活動は今
も形を変えながら行っている。 ●国語、社会、理科、生活科を中心とした研究発表会 創立１１０周年（昭和４０・５０
年代）の頃より研究発表会が積極的に行われ、全国よりたくさんの学校の先生が参観する。 ●子どもたちの委員会活動、
クラブ活動、器楽部からＢＪＢ（番町ジュニアバンド）などの活動 ●大正時代の子どもの守るきまりは、〈行いを正し
くし、学業を勉めよ〉〈身体を強健にして勇気をだせ〉〈人に迷惑をかけるな 親切にせよ〉現代の番町小学校の目標は、
「考える子、思いやる子、やりぬく子」 ●ＰＴＡ「愛育会」の活動



平成校章



旧校章



明治校章

未来へ つないで いこう！！！！

●切磋琢磨する気風 ●他を圧倒するパワーや気概を感じさせる子どもの育成 ●節目、区切り、ＴＰＯを重視した服装
●１４５年の歴史の重み＝公立小学校の歴史の重み ●地域・家族・学校が力を携えてつなぐ番町魂

f u t u r e

～番町スピリッツをつなぐ～

番町小学校 教諭 野崎哲弘

(平成2年度卒業)



番町小学校 育休代替養護教諭 片岡希恵

(平成16年度卒業)



『大切にしたい「番町小」のDNA』

私は、番町小学校の卒業生でもある当校教師です。約30年前には児童として、現在は教師として当校で過ごし、番町小学校の「特別なDNA」を引き継ぐ役割を果たしたいという想いを強くもっています。「番町小の特別なDNA」とは何でしょうか？多くの優秀な児童を育て、世に送り出してきたことは周知のことです。校歌にもある真のエリートをめざす人がもつべき「困難に耐え、くずおれない精神」を育み、自己中心になることなく世の人のために尽くす、責任感あふれる人間になる、そういう価値観をしっかりとった人に成長していく。私は、それが番町のDNAだと考えています。このDNAは、恵まれた環境に育った児童の皆さんの資質、誇りと責任感に裏打ちされた歴代の先輩教師の熱意、そして、それらを温かく応援してくださる地域・同窓会・愛育会の皆様の協力によって維持、進化されてきたと思います。私自身は、育てていただいた当時の素晴らしい恩師にはまだまだ及びませんが、自己の成長と研鑽を心がけ、児童との一日一日を大切に、素晴らしい資質を有する児童が、次のステップに向け飛躍する手助けができればと思っています。なお、授業においては「ある事実を教えることより、真実を見出すにはどうすべきかを教えることが大切〈ルソー『エミール』〉という考えのもと、社会に出れば直面する多岐にわたる問題に、どうアプローチして正解に近づくかを、ともに学びたいと希望しています。また、児童一人一人が、学校の楽しさも体感できる工夫もしていきたいと決意しています。

『繋がり続ける番町小学校』

番町小学校を卒業して10年が経った春、私は再び母校の門を教員としてくぐりました。ドキドキして迎えた始業式、改めて歌う校歌は胸に響くものがありました。子どもと共に時間を過ごしていく中で一人一人の心の中にある「優しさ」に触れました。あるとき、保健室で「大丈夫？」と声をかける姿をみていました。ふと、同級の親友のことを思い出しました。困ったとき、辛いときはいつでも話を聞いてくれ助けてくれる親友は私にとって大切な存在です。今でも定期的に会うとき「この子に会えてよかった。」と心から思っています。また、先生方との出会いも宝物です。当時の養護の佐竹先生と現在、同じ江東区で勤務をさせていただいております。真剣に向き合ってくださいの姿や明るい笑顔は何一つ変わっておらずお会いする度に安心します。私の恩師であり養護教諭の大先輩です。子どものときも教員としても素敵な方々との出会いばかりでした。これからも出会えた宝物を大切にしていきます。祖母は教員として勤め、母、兄、私は生徒として通った番町小学校。私自身、このような形で再びつながることができました。皆様があらゆる形で「つながる」ことを楽しみにしております。

s p r i t

女優 エッセイスト **吉行和子**
(昭和22年度卒業)

舞台、映画、テレビドラマに数多く出演



『番町小学校の思い出』

現在も番町に住んでいますので、週に何回かは「番町小学校」の前を通ります。その度に私の心は、幼かった頃に戻ってしまいます。校庭も覗いてみます。ずい分様子は変わっていますが、そこで遊んだ日々のことはすぐ蘇って来ます。何年か前、用事があって学校の受付に伺った時、ついでに下駄箱を見せてもらいました。あまりの小ささにショック。あらためて年月の経った事を感じました。体が弱かった為に休んでばかりいました。同級生が寄せ書きを送ってくれたり、上級生や卒業生の方々が勉強を教えに来て下さったり、番町小学校時代の思い出は尽きません。受持の増田まさ子先生は、教室で一言も喋らない私を心配なさっていました。「答えが分かったら手をあげて大きな声で答えるのですよ」とおっしゃっていましたが、とうとう一度も実現しないまま、卒業してしまいました。のちに女優などという思いがけない仕事をするようになった時は、ずい分驚きました。それでも必ず舞台は観に来て下さいました。だいぶ後になってから、私が一人舞台を演った時、楽屋にいらしたとたん「今日はよく喋りましたね」とおっしゃり、一緒に来ていた友達たちは「だって一人しか舞台に出ていないのだから、そりゃ喋んなきゃね」と笑い、先生も照れくさそうにお笑いになりました。八十歳を過ぎていらした頃です。私はじーんと胸があつくなりました。先生はずーと心配して下さったのだ。何とかして私に喋らそうと考えて下さったのだ。有り難いと感謝の気持ちでいっぱいになりました。こんなに年月が経っているのに、先生にとって私は心配ばかりさせていた生徒のままだったのです。長い歴史を持つ番町小学校、その中でどれだけ多くの生徒達が育っていった事でしょう。その一人一人が、子どもの頃の思い出を胸に各々の世界で生きているのですね。そう思うと、実際に出会うことは無かったとしても、しっかり繋がっているような懐かしさを持つことが出来ます。番町小学校がこの先いつまでも存在し、多くの子ども達がそこから育っていくことを切に願っています。

歌舞伎俳優 **市川三四助** (本名：原田龍佑)
(平成23年度卒業)

市川猿翁一門

27年10月に新橋演舞場『ワンピース』の侍女役他で二代目市川三四助を名のり初舞台



『梅の花に導かれて』

創立145周年、誠におめでとうございます。
5年前、最高学年として皇太子殿下をお迎えし、盛大なる創立140周年式典に参列できたことを昨日のように懐かしく思い出します。番町小学校で過ごした私たちの6年間の日々は、規律はしっかりと、しかし先生方や地域の方々に暖かく見守られながら、のびのびと自由に輝いていました。その学びの中で私は、人生の基盤を築く機会に恵まれました。私は、小学校の時に歌舞伎に興味を持ち始めました。大河ドラマの中の歌舞伎俳優の演技や立ち居振る舞いに魅かれたからです。そんな時、在籍していた「番町エンジェルス」の上級生のお父様がお仕事で歌舞伎に携わっておられ、チケットを下さいました。初めて見る生の舞台、その臨場感に圧倒された私は、それを機に歌舞伎俳優になるのが夢となりました。将来を語り合う仲間たちもそれぞれに夢を熱く語る姿を見て、私も負けまいと奮起し、お稽古事にもますます力を入れるようになりました。このような背景が今の私に繋がっているのだと思うと、番町小学校での様々なご縁に対し感謝の念に堪えません。5年生の夏休みのこと、「歌舞伎のタノシミカタ」という舞台に参加し、脚本家の方が面倒を見て下さり、二代目市川猿翁さん（当時三代目市川猿之助）と引き合わせて下さいました。歌舞伎の新しい試みを日本だけでなく世界に発信された文化功労者であられる猿翁師匠もまた、番町小学校を卒業されました。中学校を卒業後、私は、弟子入りのお許しを頂いて、直々に市川三四助という名誉あるお名前を頂戴しました。今は、師匠や兄弟弟子のお世話をさせていただきながら、舞台にも出させていただいております。「耐えて忍びてくずおれず 静かに春を待ちてこそ 世にかぐわしき花も咲け」厳しい世界ですが、ふとしたときに力を与えてくれる一節です。

歌い継がれる

校歌と記念日の「歌」



輝いて今日を

21世紀のはじまりに相応しく平成12年（2000年）に新しい校歌が仲間入りした。作詞はこわたたまみ。作曲は「ちいさいあきみつけた」「めだかのがっこう」で知られる中田喜直（昭和10年度卒業）。彼の同期に芥川賞作家の吉行淳之介がいる。平成12年2月5日新校歌制定式があり、その3カ月後に76歳で亡くなる。この校歌が遺作となった。

かかや きょう
輝いて今日を

こわたたまみ 作詞
中田喜直 作曲

♩ = 96位 力強く、そして美しく

1 あさの ひかりに かかやいて まゆあけいのち あたらしく
2 ともによびかけ きらめいて ほほそめころ しなやかに

かおれ このまにに このそらに うめ のつぼみが ほほえむように
はげめ にどとない このひびを うめ のしるしの ほこりもたく

ゆめをひろげあ い さあ きょうもあゆもう きょうも
りそうかかげあ い さあ あすへのびよう あすへ

あゆも う うたごえも ひかれ ひとつにひびけ
のびよ う

ぼくのわたしの ばんちょう ばんちょうしょうがつ こう

われらがかざせる

明治32年から35年の間に作られたと言われている。梅の花は古代より日本人が大切にしている花であり、この花のように番町のこどもは、最初はつぼみであっても、苦難を乗り越えて立派に咲くという歌詞である。作詞は成蹊学園創立者の中村春二の父であり、歌人・国文学者の中村秋香（あきか）。作曲は「夏は来ぬ」を作った小山作之助。

われらがかざせる

中村秋香 作詞
小山作之助 作曲

1 われらが かざせる このうめの はなこそころの
2 われらはい まこそ つぼみなれ ひらきてにおえる

しおりなれ まなびの にわの
このはなは まなびの わざを

しなもし ゆきにて たはえる しちえし
くす ーが たな ーり いでこのかざしを

まちてこそ よにかぐわしき はなもさけ
しおりにて かーぐわしきをよにたてん

記念日の「歌」

大正9年（1921年）創立50周年の際に作られる。作詞は文部唱歌「鎌倉」を作った国文学者の芳賀八一（明治12年4月高等科卒業）。作曲は宮内庁雅楽部にいた多忠亮（明治39年度尋常科卒業）。彼は竹久夢二作詞の「宵待草」も作曲している。記念日の「歌」はやさしいメロディーで、今も式典や学校行事の中で演奏され、歌い継がれている。

きねんび うた
記念日の「歌」

芳賀八一 作詞
多忠亮 作曲

♩ = 100

1 めいじよねんの つきの このひ
2 こごまなびの ここの ーのかより
3 あごな ゆうな のもの いでいり
4 としに いちどの ぼこの きねんび

こすの がっ こ う は は じ め た い ぬ
すわ が しー ひ と も は あー ま い で き て
おー と なー こ ど も か とー も に まっ い て

おもえ は と お き わ か し よ な
ふーの か きみ し の え あ り や
そ たろ う きさ ぞ の は の し さ よ



番町小学校創立145周年記念号
平成28年9月

発行 番町小学校同窓会
創立145周年記念事業実行委員会
デザイン TOMMY,INC 菅原朗（昭和49年度卒業）
印刷 株式会社 精興社